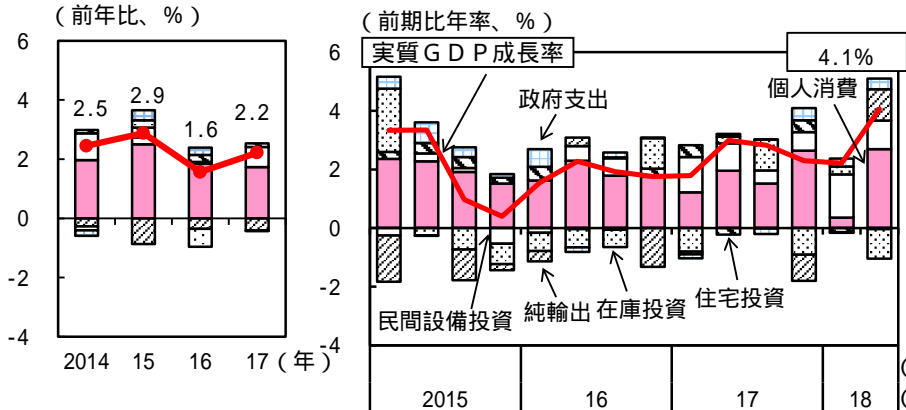


1. アメリカ

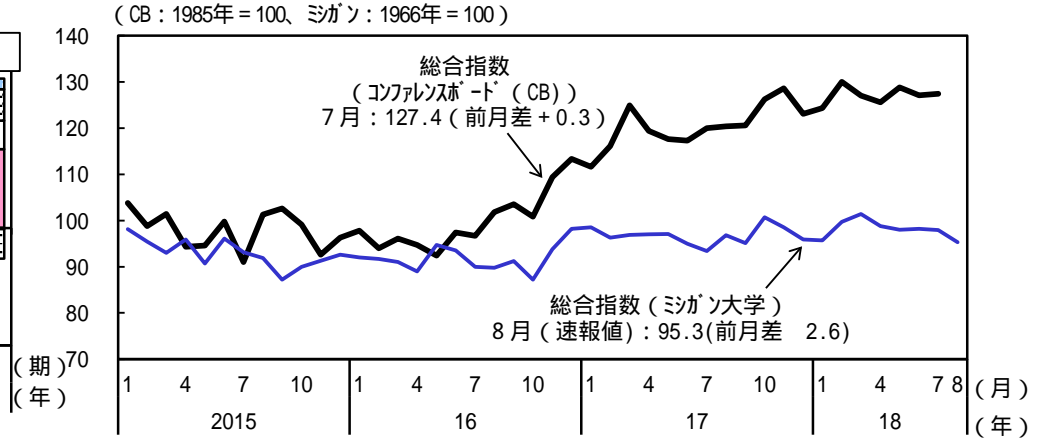
アメリカでは、景気は着実に回復が続いている。

実質GDP成長率（1次推計値）
2018年4 - 6月期は前期比年率4.1%成長

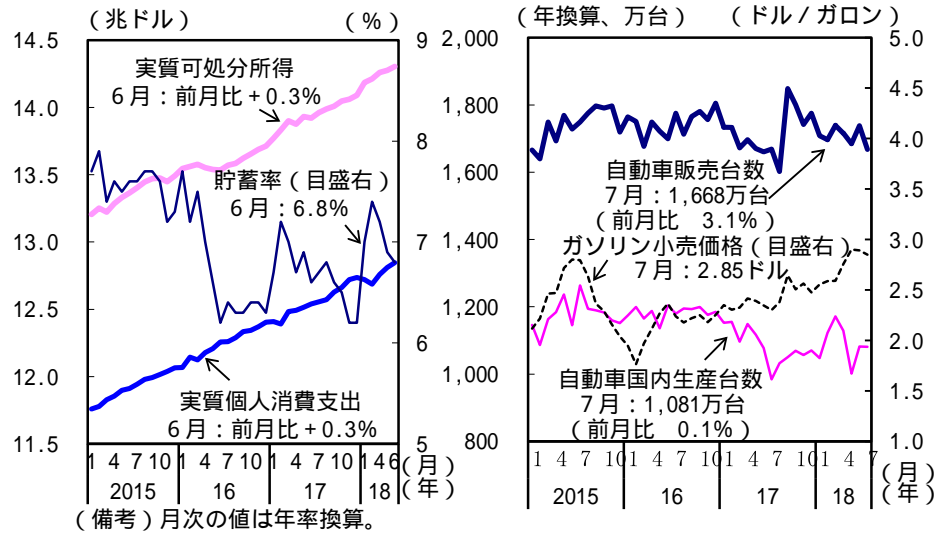


(備考) 2018年4 - 6月期の寄与度(%)は以下のとおり。個人消費: 2.7、民間設備投資: 1.0、住宅投資: 0.0、在庫投資: 1.0、政府支出: 0.4、純輸出: 1.1。

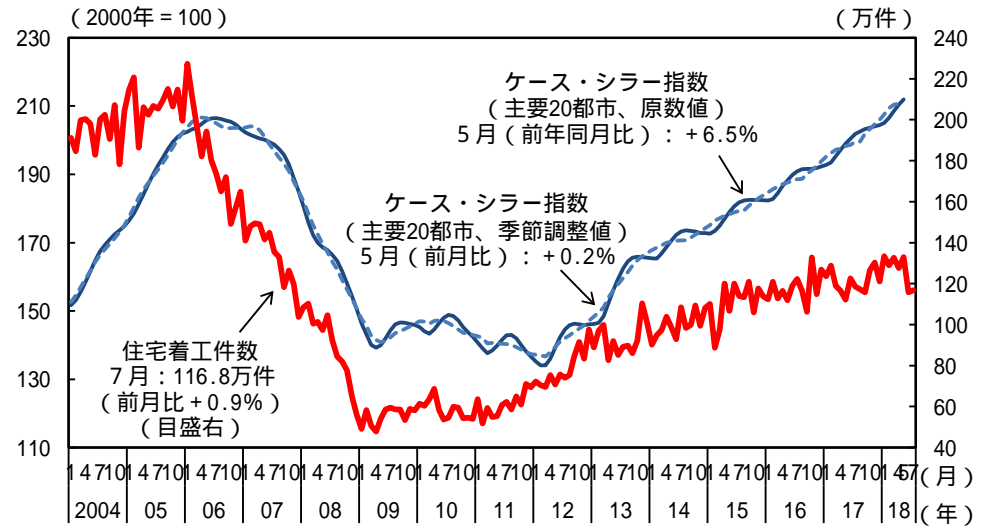
消費者信頼感指数

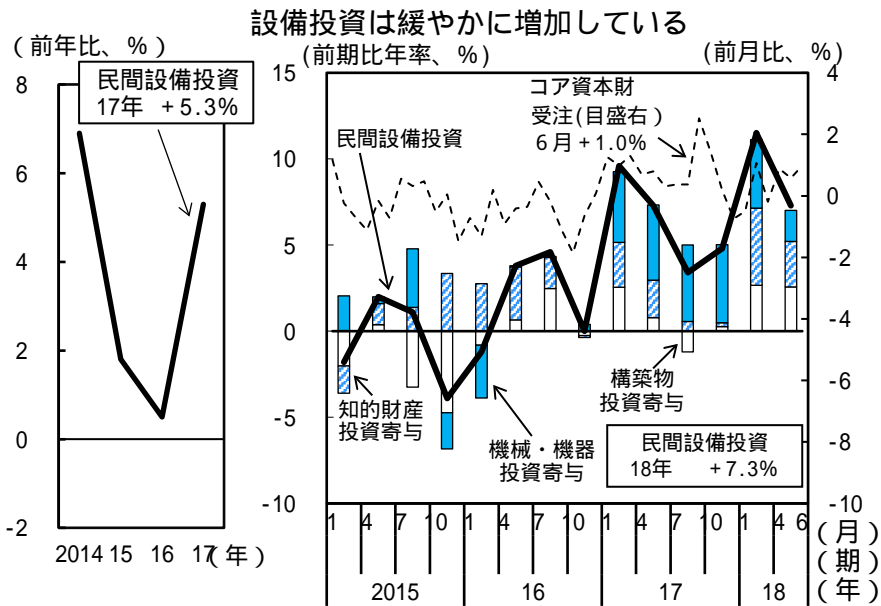


消費は増加、自動車販売台数はおおむね横ばい

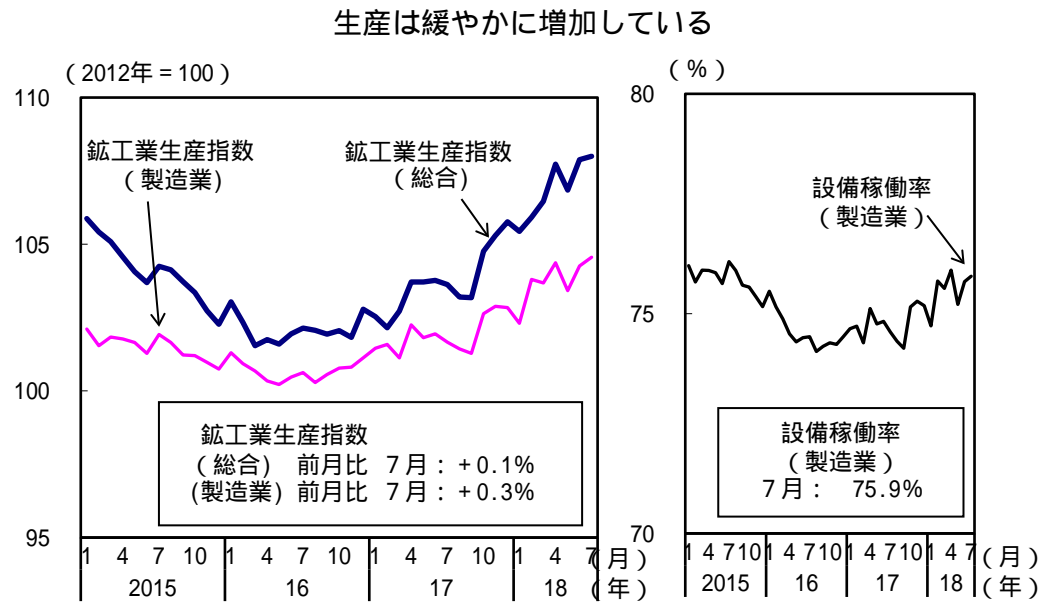


住宅着工はこのところおおむね横ばい、住宅価格は緩やかに上昇

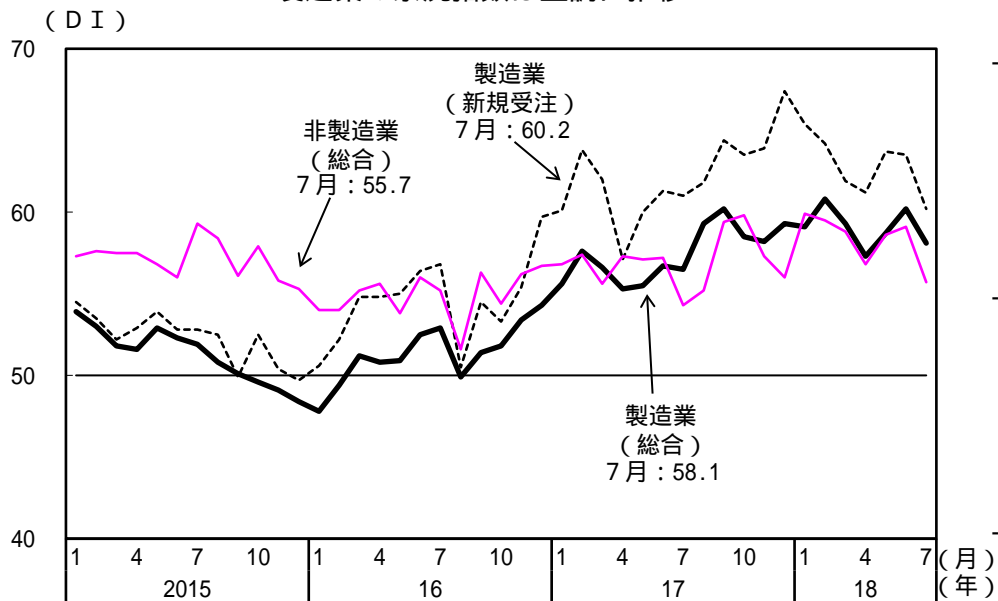




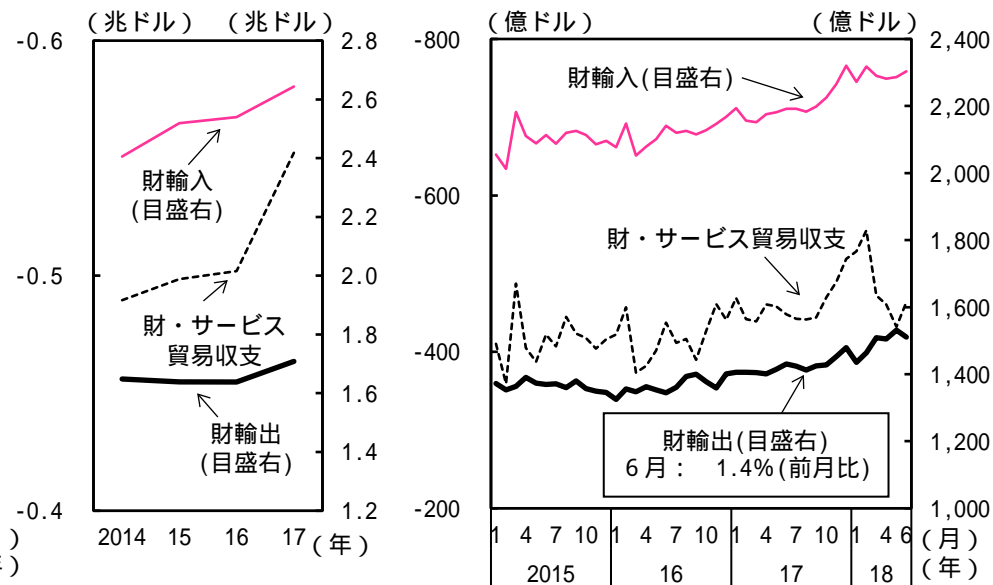
(備考) コア資本財受注は3か月移動平均値。



製造業の景況指数は堅調に推移

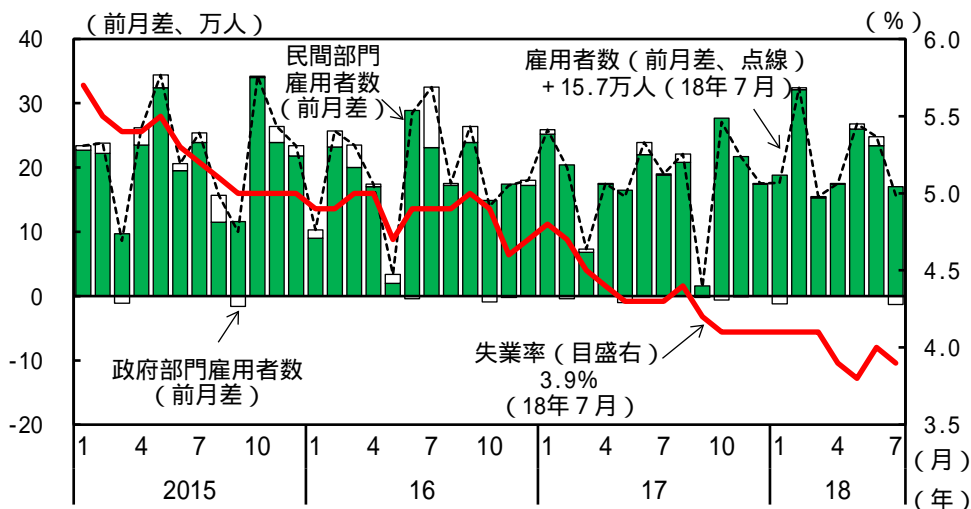


財輸出は緩やかに増加している



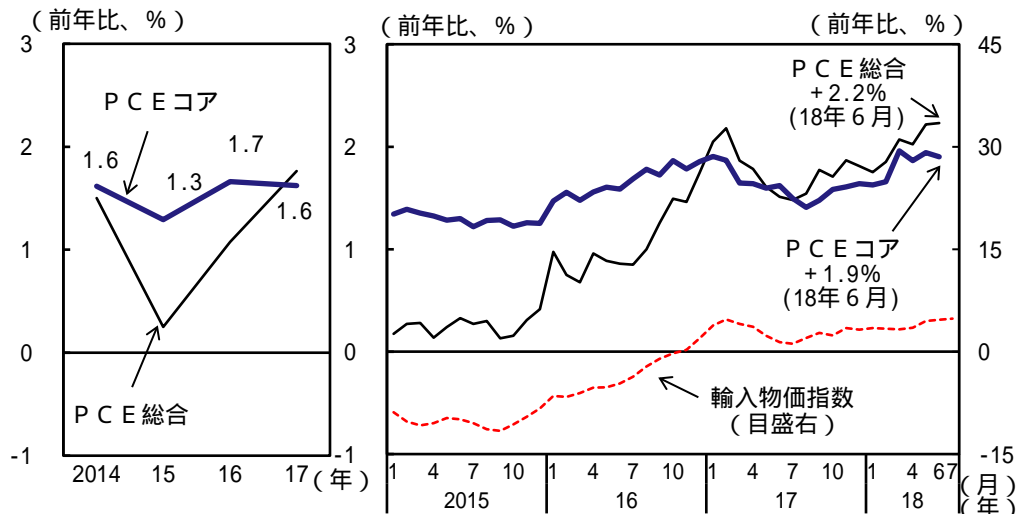
(備考) 財輸出入は通関ベース(実質)、財・サービス貿易収支は国際収支ベース(名目)。

雇用者数は増加しており、失業率は低下傾向にある



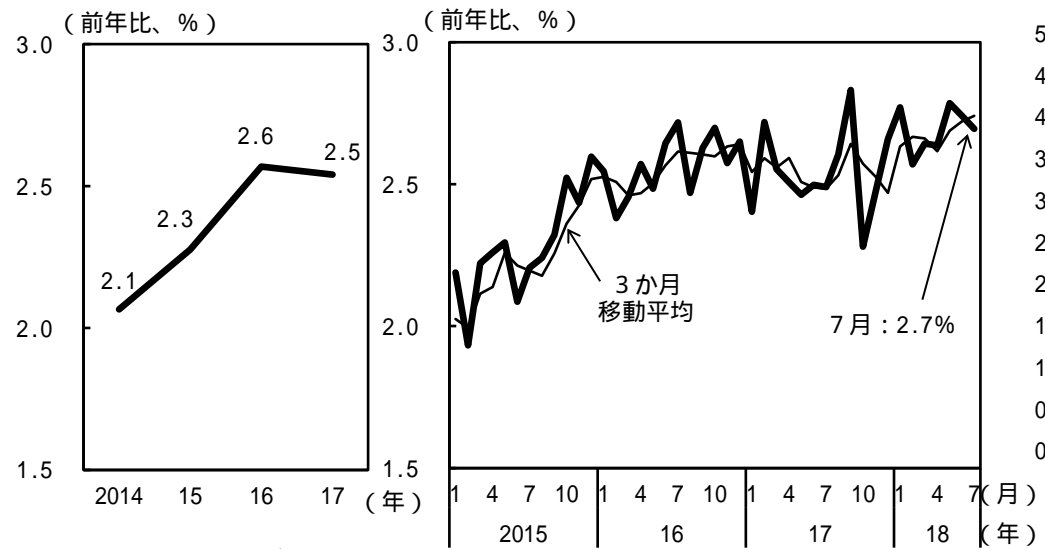
(備考) 雇用者数は非農業部門。

コア物価上昇率は緩やかに上昇している



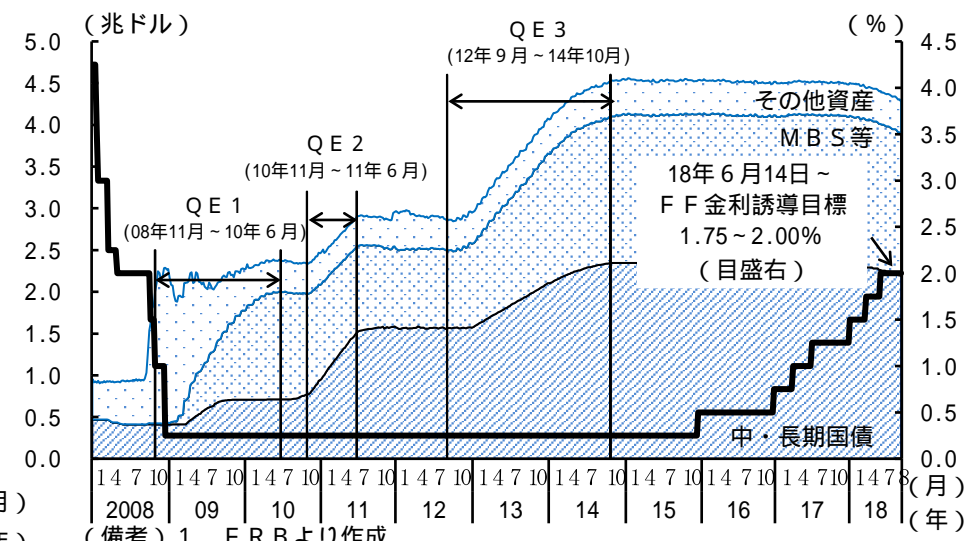
- (備考) 1. 上図のPCEは、個人消費支出デフレーターを指す。
- 2. コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数。

賃金の伸びはやや高まっている



(備考) 賃金の伸びは全雇用の時間当たり賃金の前年比。

金融政策



- (備考) 1. FRBより作成。
- 2. FF金利誘導目標については、上限を指す。